

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 5年 5月 22日

学校名 麻生津小学校

校長氏名 斎藤 弘子

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 麻生津地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 水や電気などの資源を大切に使います。
- ③ ごみを減らし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

- ① 環境学習・環境教育
 - ・教科・総合的な学習の時間・特別活動の授業の中で、環境問題を取り上げた授業を行います。
 - ・児童の実態に応じて、持ち物を大切に作る指導を行います。
- ② 省エネルギー・省資源
 - ・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。
 - ・節水を意識して、水の出しっぱなしに気をつけるようにします。
 - ・プリントを印刷するときは、必要な枚数を確認したり、反古紙を利用したりします。
 - ・職員の資料や連絡は、できるだけデータで共有できるようにします。
 - ・お便りのデータ配信を活用して、ペーパーレスに取り組んでいきます。
 - ・エアコンの稼働は気温の高くなる教室から順に時間差で行います。
- ③ ごみ減量・リサイクル
 - ・福井市のごみ分別ルールに従って分別します。
 - ・職員室のゴミ箱は1つにして、ゴミ減量をめざします。
 - ・委員会などを通し、児童自身がゴミを減らそうという意識が高まるような取り組みを行います。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

①での環境学習・環境教育で学んだことを動画で発信するとともに、自分の生活とのつながりを意識し、日頃の生活の中で、環境に配慮した生活が送れるようにする。

(つながりの意識・協力)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h2 style="text-align: center;">麻生津小学校</h2>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①麻生津地区の環境、地球環境について学習します。 ②水や電気などの資源を大切に使います。 ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。 	
<p>2 取組内容</p> <p>①環境学習・環境教育（4年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科で、ごみの分別を学び、ごみ処理施設の見学に行ったり、ごみを減らすための3R（リサイクル・リユース・リデュース）を歌で親しんだりして、自分たちの生活の中でできる3Rを見つけました。また、生活に使われる水について、鳴鹿大堰や浄水センターを見学し、豊かな水の恵みをこれからも大切にするために、節水や水を汚さない活動に取り組んだり、新聞にまとめたりしました。 ・理科の観察のために育てたツルレイシをグリーンカーテンにし、地球温暖化について考えました。 ・総合的な学習では、「環境と福祉」をテーマに、だれもが幸せである暮らしを守るために、限りある資源を大切にしたり、環境汚染やそれに起因する災害を防いだりするために自分たちにできることを考え、スライドにまとめ、発表しました。 <p>②省エネルギー・省資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使わない教室や部屋の消灯およびストーブの消火に取り組みました。職員室では使用しないスペースの照明を消して、節電に取り組みました。 ・紙媒体の使用を減らすために、会議等の資料はデータで共有したり、保護者宛のお便りもメールで配信したりしました。 ・拡大コピー用紙やグループワークなどで使う模造紙など、ICTで代用できる場合は積極的に活用し、感熱紙や模造紙の使用を減らしました。 <p>③ごみ減量・リサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教室に燃えるごみ、燃えないごみ用のごみ箱を設置して、ごみの分別に取り組みました。 ・6月にPTAで資源回収を実施しました。 	    <p style="text-align: center;">ICTを用いたグループワーク</p> 

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

- ・①について、新聞やスライドにまとめたことを発表・掲示することで、自分の考えを伝えたり、他者の考えや意見を聞いて感想を伝えたりしました。（コミュニケーション）
- ・①について、ツルレイシの水やりをみんなで順番に行い、グリーンカーテンに育っていく様子を観察することで、植物を大切に育てる意識を高め、自分達ができる環境活動へ主体的に取り組みました。（協力・参加）

3
見直し

【具体的効果】

- ・家庭で出るごみ調べやごみの捨て方に関する学習、ごみ処理施設の見学を通して、ごみを捨てる前に何ごみになるかを考えたり、物を大切に使う意識が身についてきています。
- ・水の循環や災害に関する学習、鳴鹿大堰や浄水センターの見学などを通して、水の使いすぎや汚さない工夫（給食のお椀をパンできれいにしようとするなど）をしようとする意識が高まっています。

【改善点】

- ・活動を振り返って試行錯誤できるように、児童が話し合う時間を設けながら進めていけるようにしていきたいです。
- ・SDGsの項目と関連付けることで、2030年のゴールを目指して、持続的に取り組む意識を育てていきたいです。